

施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長 (幹事部局)	環境生活部 新田 英夫	電話番号	0852-22-5231
---------------------	-------------	------	--------------

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
目的	○県民が芸術文化を楽しんだり、自ら活動に参加したりする機会を増やすことにより、暮らしの中で潤いや心の豊かさが実感できるような環境づくりを目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
県民文化祭の参加者数	目標値	/	50,000	50,000	50,000	50,000	人	目標値	/						
	取組目標値	/						実績値							
	実績値	54,518	45,701	53,495	44,766			達成率							
	達成率	/	91.40	107.00	89.60			%							
定性目標	目標値	/					%	目標値	/						
	取組目標値	/						実績値							
	実績値							達成率							
	達成率	/						%							
定性目標	平成24年度～平成27年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	必要に応じて記載（任意記載） ○県民文化祭の参加者数は減少しているが、県立文化施設については3施設合計（745,336人）で目標入館者数（680,000人）を上回る（約10%）ことができた。・県立美術館199,289人（目標 240,000人）・県民会館166,717人（目標140,000人）・グラントワ 379,330人（目標300,000人）														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	○県民の自主的かつ主体的な文化活動を促進するため次のような取り組みを行った。 【県民文化祭】 ※H26年度（H25年度）実績 ・主催事業参加者数 16,278人（15,472人） ・共催事業参加者数 23,033人（38,023人） 【県立文化施設の入館者・利用者数】 ※H26年度（H25年度）実績 → 745,336人（762,849人） ○少子化により生徒数が減少傾向にある中で、高校生の文化部参加率は増加傾向にある。（文化部生徒数 / 高校生徒数） H24年度：5,865人 / 22,350人（26.2%） H25年度：5,871人 / 21,827人（26.8%） H26年度：5,859人 / 21,611人（27.1%） ○全国高等学校総合文化祭への参加は16部門であり、目標の15部門を上回った。
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	B	○県民文化祭の参加者数は減少しているが、地元の文化芸術団体が学校を訪問して実技指導、合同公演を行う文化芸術次世代育成支援事業により、県民文化祭への若年層の参加が増加している。 ○県立文化施設（県立美術館、芸術文化センター、県民会館）について、3施設合計で入館者目標値を達成することができた。 ○全国高等学校総合文化祭への参加は16部門と、目標の15部門を上回り、青少年の文化活動推進の取組みは概ね順調に進んでいる。

⑤課題の認識

(1) 平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	
(2) 施策の目的達成に向けての課題		○県民文化祭については、参加者の固定化や高齢化に加えて、厳しい経済情勢の下で、県民の文化活動に対する意欲や関心の低下が危惧されている。なお、共催事業の参加者については、年によって変動があり、安定的に毎年参加者を確保することが課題である。 ○県立美術館、グラントワ、県民会館については、企画展や芸術鑑賞事業など事業展開の見直しを図っていく必要がある。 ○学校においては、少子化による生徒数（部員数）の減少により、文化部活動の存続や活動水準の維持・向上、次代の文化活動の担い手育成が一層困難になると予想される。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	○県立美術館、石見美術館については、今まで美術館に足を運んだことのない方に来館いただけるよう親子向けの展示会を実施するなど幅広い年代の方に楽しんでいただける展示会を開催するとともに、関係機関、団体等と連携して県内外に向け積極的な広報に努める。 ○県民会館、いわみ芸術劇場については、館内でのホールイベントやワークショップの充実を図るとともに、公立文化施設、教育施設を活用したアウトリーチ活動（市町村、教育委員会、文化団体等と連携したイベント、ワークショップなど）を積極的に展開することにより県民の文化活動への関心を高め参加を促進する。また、併せて、これらの活動を通じて文化団体の育成にも努めていく。広報にも積極的に取り組む。 ○県民文化祭をさらに幅広い県民が参加できる開かれた文化祭にするるとともに、中・高・大学生等、広く若者も取り込んだ文化祭とすることにより、担い手の育成に努め、文化活動の裾野の拡大を図る。 ○学校においては、文化部参加生徒数及び指導者を確保し、活動水準の維持・向上、さらには次代の文化活動の担い手を育成していくため、地域や文化団体等との連携を一層深めていく。 ○児童・生徒が多様な芸術文化に触れる機会や活動成果の発表の場を提供するとともに、社会人指導者の活用による技術力・表現力の向上を図る。
---------------------	---